
出逢い

星衣礼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

出逢い

【Nコード】

N8180E

【作者名】

星衣礼

【あらすじ】

明美に恋人ができたことを哀（志保）視点で描いた短編小説です。姉のことが大好きな哀は、姉の幸せを願うけれども…。

ある日、いつものように研究所で薬の研究をしていた私のもとに、突然姉から連絡が入った。

話によると、車で人を撥ねたらしい。

全く姉のおっちょこちょいには呆れてしまう。

その人が大事に至らなくて本当に良かったわ。

姉が犯罪者になるなんて、嫌だもの。まあ、私に言えたことじゃないけれど…。

しかし、もっと驚くことがあった。

『あのね、実はね…』

なんと、姉は自分が撥ね飛ばした人を好きになったそうさ。

姉曰く、「本当にかっこいいんだからっ！」らしい。

とは言ってもねー、お姉ちゃん？

自分を撥ね飛ばした人間のことを好きになる人っているのかしら？お姉ちゃんには悪いけど、その恋は絶対に成就しないと思うわ。

だけど、私の予想は外れた。

姉に会って欲しい人がいると言われ、待ち合わせ場所に行くと、その人を紹介された。

正直、あまり良い印象を持てなかったのが事実。

はつきり言ってお姉ちゃんとは合わないと思う。

この人のどこがいいの？と本人が目の前にいるのにも関わらず言いそうになった。

そして、のちに彼は組織の一員となった。

姉は彼と一緒にいると幸せそうだったし、私に彼のことを本当に嬉しそうに話す。

けれど、私は何故か不安だった。

私の中の何かがそう感じていた。

自分で言うのも何だが、こういう時の勘はよく当たる。

願わくば、この不安が

どうか…まやかしてありますように…。

（後書き）

哀の独白です☆

結局最後には哀の1つ目の予想も2つ目の予想（勘）も当たってしまうんですね…。

今回は哀視点で書きましたが、機会があれば明美視点でも書きたいなと思います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8180e/>

出逢い

2010年12月11日02時56分発行